

47
No. 11

木彫りの 建築士会 女性委員会

今年も笑顔で

道南B 吉田 幸恵

去る1月22日、私達道南Bブロック女性部は、新年会を行いました。真面目な私達なので飲みや歌えや~のドンチャン騒ぎではありません♪

雪多く残る中でしたが、お天気にも恵まれ、まずは昨年完成オープンした、登別の知里幸恵『銀のしずく記念館』へ。

銀のしずく館は、2002年に始まった募金活動や館長さんはじめ多くのボランティアさんの熱意のもと知里幸恵の遺品や関連図書の展示、アイヌ文化伝承や地域の人々との交流の場としてようやく完成に至りました。中に入ると、ボランティアさんが熱心にそして丁寧に幸恵の生涯やアイヌ文化を語って下さいました。幸恵の書いたノートには、とても達筆な字で、びっしりとアイヌ語を日本語に翻訳したものが書かれていたり、当時の成績表などが展示されていました。幸恵はとても成績優秀であり、努力の人でした。当時のアイヌ人への差別で胸を痛めながらも



祖母が歌ってくれるアイヌの叙情詩で心を癒し、日々を過ごしていたそうです。

私達と一緒に写真に写る木彫刻の幸恵は等身大で、とても小柄でかわいらしい女性でした。金田一京助氏との出会いで、アイヌ語伝承に自分の人生を費やす事になり、民族としての誇りをしっかりと持つ事が出来、短い生涯を翻訳に費やしました。ボランティアの方の熱心なお話でアイヌの文化やいつもは忘れがちな地域の歴史などを知る、とても良い機会でした。

多くの方々の情熱で完成したこの場所が、登別の観光の一環となり、持続して行く事を願ってやみません。

見学会の後は、市内にある和食のお店でランチです。

年2回の活動になりますので、話のネタはつきず、食べる間も惜しんで、しゃべる・しゃべる…美味しい料理を堪能した後は、メンバーの一人が、地域の美術展で入賞された作品を拝見しに御宅へお邪魔しました。花や自然を描いたものやお孫さんの笑顔の絵画などとても素晴らしいものばかりでした。

そこでも、お腹がいっぱいなのにもかかわらず、メンバーの一人がお土産で持って来てくださった『塩モンブラン』!! (洞爺町のパティスリー ヴィオレットさんのものです) しっかりとした塩味がついて…それでいて栗の甘みもあり、大変美味でございました。

食べては、しゃべり、またしゃべっては食べ…建築のこと・仕事のこと・プライベートのことなど。まだ日も浅いお付き合いですが、心地よいこのつながりが、楽しくて仕方がありません。いつも時間が足りなく、帰りは後ろ髪がひかれる思いです。

たくさんしゃべって、笑って、美味しいものをたくさん食べて…今年もこれで乗り切って行けそうです。

道南B女性部では、一緒に活動してくれる方を募集しています!

お仕事・家庭・その他でお忙しいとは思いますが、ぜひ細く永くつながっていきませんか?

職場では、なかなか女性が多いことは稀だと思います。

ぜひ、楽しい時間を共有しましょう!!

